

連携先	SuperStream BIツール	利用シーン	データ連携	業種	製造業
-----	----------------------	-------	-------	----	-----



ASTERIA Warpで経営課題、ユーザー要望に迅速に対応

六甲バター株式会社
神戸市中央区坂口通一丁目3番13号
URL <http://www.qbb.co.jp/>



導入背景

六甲バターはQ.B.B.ブランドで有名なチーズを中心とする食品メーカー。常に最高品質の商品開発に余念がない。それを支える社内業務システムも経営課題や社内要望に応えるべく、追加開発・改変を長年に渡り実施してきた。しかし開発時期によりその時代時代の主流となるシステムや言語で開発された各種業務システムが混在し、システム毎に求められる技術スキルも異なることから、システム開発、運用が属人化。システム連携も複雑化し、全体把握が困難になっていた。

課題

- システム連携の属人化、複雑化が起因し、経営課題やユーザー要望に対し、機敏な対応ができない。
- 手動運用が多く、システム部門の負担が大きい
- IBM i (AS/400)上のEBCDICコード変換をMRDBで実施していたが、MRDB保守終了で再開が必要となった

導入

- 月次締後でないとは確認できなかった経理システムの経費データを日次でBI連携し、可視化
- BI連携時にエラーなどで除外された経費データは担当者にメール通知
- 販売管理システムの販促費データを日次でBI連携するバッチジョブを自動実行

効果

- 月中に経費データの利用進捗状況を確認できるようになった
- 月次処理に手作業で約1時間かかっていた経費データのBIへの受け渡し処理を自動化、約5分間の日次バッチ処理で反映できるようになった
- 販促費データについては、日々手動でバッチジョブを起動する手間を削減

ASTERIA Warp選定理由

- 比較検討した他社EAI製品に比べ、フロー作成がシンプルでつくりやすかった。
- ステップ実行で結果を確認しながらフロー修正できるのでデバッグがしやすかった
- パナソニックインフォメーションシステムズの手厚いサポートが受けられた

今後の予定

- 他の業務システムのデータもBI連携し「見える化」をさらに促進
- 手動で実施している処理を自動化
- 各業務システム間の連携をASTERIA Warpで再構築していく予定

お客様から一言

ASTERIA WarpのココがGood!



六甲バター株式会社
経営企画部
情報システムチーム
篠原 早紀 様

ASTERIA Warpは操作性が良く、分かりやすいGUIですぐに要領を得ることができました。デバッグも簡単でなにかあっても自己解決しやすいです。また、先日AUGのセミナーに参加しましたが、他のベンダーにない充実した内容でした。AUG関西支部も発足するとのことで、ぜひ参加したいと思います。

システム構成図

